

令和3年度 第1回 産業医科大学病院医療安全監査委員会

日時：令和3年10月18日（月） 13時30分～14時30分

場所：福岡大学病院・産業医科大学病院（Web開催）

【監査事項】

1. 医療安全管理委員会に関する規程、構成員、審議事項、決定事項等の確認（議事録含む）。委員会での決定事項や対策が各部門、各部署、各職種でどのように周知されているかについて
2. 暴言、暴力・ハラスメント対策について
（対応事例(1事例)の提示、実際の対応の説明）
3. HBV再活性化の予防に向けた取り組みについて

令和3年11月8日

産業医科大学病院医療安全監査委員会

委員長 藤田昌樹



○令和3年度 第1回産業医科大学病院医療安全監査委員会講評

改正医療法施行規則により医療安全管理体制整備の確認のために、令和3年10月18日に第1回産業医科大学病院医療安全監査委員会を開催しました。

監査は事前に通知した監査項目に沿って行いました。監査結果を以下に講評します。

・監査事項

- 1 医療安全管理委員会に関する規程、構成員、審議事項、決定事項等を確認させてください。議事録も確認させてください。
また、委員会での決定事項や対策が、各部門、各部署、各職種でどのように周知されているかも併せて確認させてください。関係資料もご提示ください。

(講評)

- ・医療安全管理委員会に関する規程、構成員、審議事項、決定事項等を確認しました。また、議事録より、医療安全管理委員会において医療の質・安全管理部の日々の活動状況が詳細に報告され、各部門のセーフティーマネージャーに周知されていることも確認できました。
医療安全管理委員会の質向上および活性化を図るため、ポジティブ報告を共有していることなど、大変参考になりました。3b以上のインシデントやアクシデントの詳細な内容、要因、対策等々を医療安全管理委員会の中で共有し、活発に意見交換を進めていくことで、さらに貴院における医療安全の質が高まることを期待しています。
- ・CVCインストラクター・認定医制度の導入について、CVC挿入を安全に行う体制整備が行われており、大変参考になりました。インストラクター・認定医ともに自己申告制であり、技術習得できたかどうかの客観的評価が困難であることは、今後の課題と思われま

- 2 貴院の暴言・暴力・ハラスメント対策マニュアルをご提示ください。
対応事例(1事例)をご提示いただき、実際の対応をご説明ください。関係資料もご提示ください。

(講評)

- ・暴言暴力に関しては医療の質・安全管理部ではなく、患者相談窓口で初期対応を行い、医療にかかわること、訴訟に発展する可能性のある事案は情報共有を行う体制をとられていることを確認いたしました。また、医療の質・安全管理部で対応が必要な案件は引き継ぐことも確認できました。福岡大学病院の暴言・暴力対応の参考とさせていただきます。
- ・ハラスメント防止対応窓口他に関しては、大学事務局内に設置されていることを確認いたしました。
- ・暴言暴力等による診療拒否に関する事項について確認いたしました。緊急を除く、全科、入院・外来共診療拒否事例は少なく、病院との関係を完全に切ることが困難であることも確認できました。福岡大学病院の診療拒否対応の参考とさせていただきます。

3 HBV再活性化に対する取り組みについて、ご説明ください。

(講評)

- ・HBV再活性化への対応として、電子カルテシステムを利用した取り組みは、疑義照会件数が減少するなど一定の成果が認められます。機械的にアラートを表示するのではなく、電子カルテを開く時に表示する期間を限定、処方時には検査結果に応じたアラートを表示、また検査結果を容易に確認できるボタンを設置するなどの工夫がなされており、大いに評価できます。今後、対象を経口抗がん薬等にも拡大し、調剤薬局と連携して同様の取り組みができることを期待いたします。

以上